

ぜいたく豆本舗

角振町

明治43年に特産「蚕豆(そらまめ)」を用い風味豊かな豆菓子の加工販売をはじめた。今日のぜいたく豆の始まりです。

ぜいたく豆本舗本店 主屋は、三条通に面する町家です。国の登録有形文化財指定の明治初期に建てられた建物が4棟。店舗の主屋に加え東蔵、西蔵とその前面にある旧応接室です。主屋は木造2階建て、東蔵と西蔵は土蔵造2階建て、旧応接室は木造平屋建

道路拡張により前面側は1間ほど切縮められています。当初は1階西側を床上部としましたが、数度の改造を経て総土間に改められました。

つし2階の外観で、2階には東西2列に居室を配する。奈良町の景観を今日に伝える建築となっています。旧応接室は、1951年頃(昭和26年頃)に建築され、西蔵の前面側に接して建っています。屋根は入母屋造で、軒下には銅板葺の小庇を巡らせています。内部は板敷の一室とし、南東の中庭側に大きな採光面を取っています。天井を折上げ格天井とするなど意匠的にも優れ、開口部建具などが改造されていますが、全体として旧状を良く留めています。

昭和52年3月撮影 写真①



旧応接室

現在(平成24年)撮影 写真②



西蔵



写真①②：撮影者：福川美佐男氏